

特定小電力レピーター
(総務省技術基準適合品)

D J - P 3 0 R

取扱説明書



アルインコ 特定小電力レピータを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて、効果的にご使用頂くため、この取扱説明書を使用前に、
最後までお読み下さい。
また、この取扱説明書は、必ず保存して下さい。

本機に貼ってある証明ラベルや製造番号ラベルをはがしたり、内部ビスなどを取り外し改造を行った状態で運用する事は、法律で禁止されており法令により罰せられる事があります。

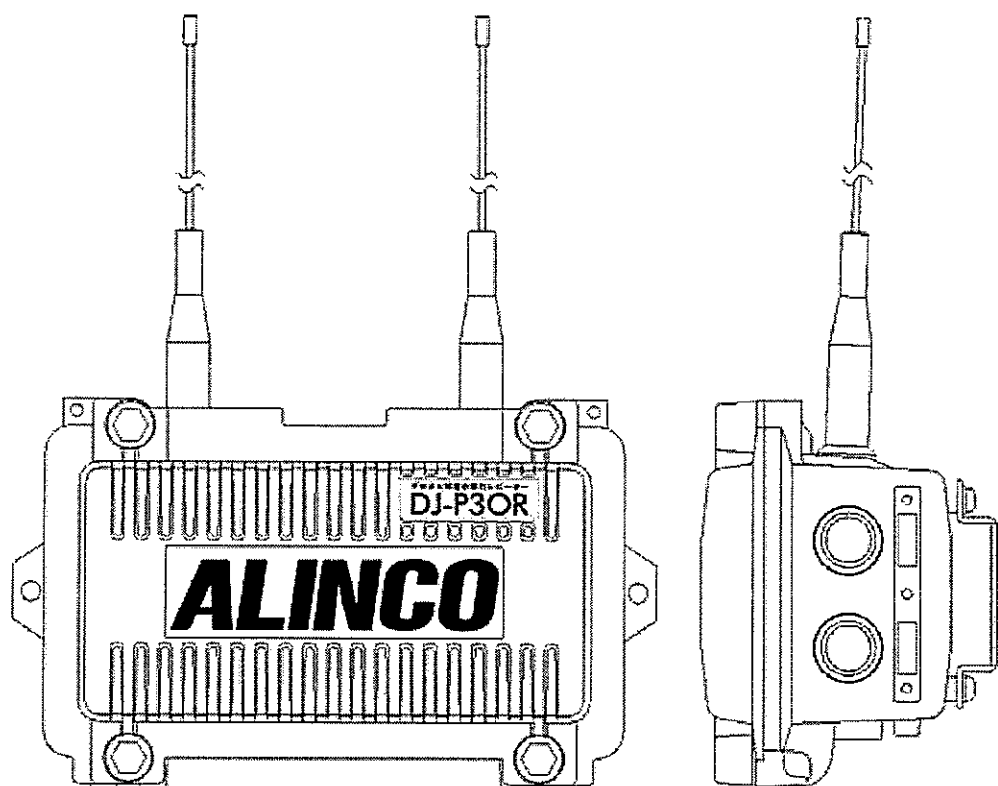
使用上の注意：

本機は技術基準適合品ですが、使用場所によっては電波障害を引き起こす事があります。
航空機内、空港敷地内、病院及び、その周辺、電車内などでは使用を避けて下さい。
また、日本国内のみで使用して下さい。

設定場所は、周囲の温度が極端に高い場所、また極端に低い場所、海水が直接被る所、
落雷の危険がある所は避けて下さい。

本機は技術基準適合品のため 改造、変更は禁止されています。
分解、改造して使用しないで下さい。

1. 外観



2. 付属品

本機には、次の物が付属しています。

- ①ポールマウント、壁取付兼用金具一式
- ②取扱説明書
- ③ACアダプター

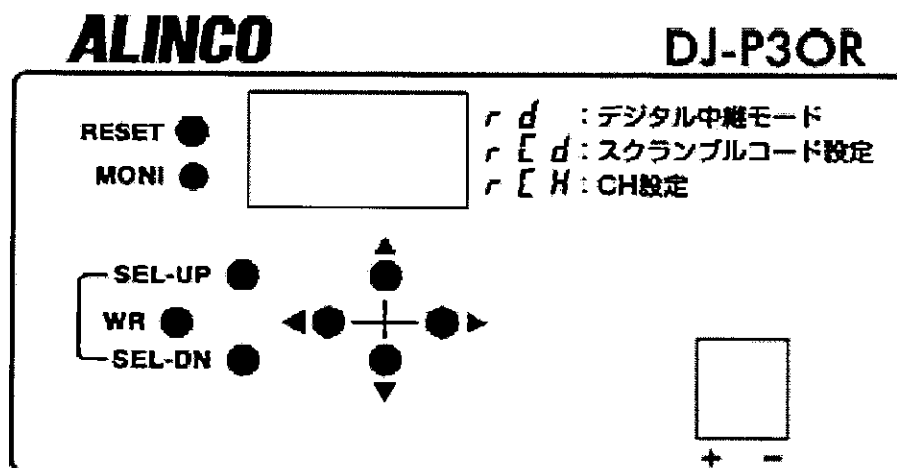
3. 本機の特徴

- ①免許及び申請手続きは一切不要です。
- ②グループ機能に対応しています。
- ③防水防塵仕様で耐候性、耐久性にすぐれ、屋外設置可能です。
- ④アンテナは、1/2λ長で効率の良い通信が行えます。
- ⑤DC8V～15Vで動作しますので、12Vバッテリーが使用出来ます。
- ⑥本機は半複信通信27CHに対応しており、その中の任意のチャンネル設定通信が可能です。

4. 各部 名称及び動作

4.1. 設定部外観

ケース蓋を開けると図の様に、設定部が見えます。



4.2. 設定名称

4.2.1 3桁7セグメント表示

各種設定状態、コード等を表示します。

4.2.2 RESETキー

リセットキーです。表示を電源起動時に戻す時に使用します。

リセットキーを押しても一度設定記憶した各機能設定値は消えません。

各機能設定値を変更する場合は、設定値変更後WRキーで保存して下さい。

4.2.3 MONI LED表示

各種状態表示用LEDです。

受信電波がある場合 緑色点灯

DJ-P30Dの中継電波受信時 橙色点灯

各種設定書き込み 赤色点灯

4.2.4 WRキー

各機能設定状態を記憶するためのキーです。 設定後このキーを押すとMONI LEDが一瞬赤に点灯し書き込みを確認出来ます。

4.2.5 SEL-UPキー

機能選択キーです。押すと上方向に機能が選択出来ます。

4.2.6 SEL-DNキー

機能選択キーです。押すと下方向に機能が選択出来ます。

4.2.7 ▲ キー

設定値を増やす時に使うキーです。

押す都度に数字が増え最大になると最小に戻りまた増えます。

ON OFF設定の場合 ON OFFを繰り返します。

4.2.8 ▼ キー

設定値を減らす時に使うキーです。

押す都度に数字が減り最大になると最小に戻りまた増えます。

ON OFF設定の場合 ON OFFを繰り返します。

4.2.9 ◀ キー

コード設定時の桁選択に使用します。このキーを押す都度に、桁選択が左側に移動し左端から右端へ飛び左へ移動します。

4.2.10 ▶ キー

コード設定時の桁選択に使用します。
このキーを押す都度に、桁選択が右側に移動し右端から
左端へ飛び右へ移動します。

4.3. 設定内容

4.3.1 デジタル中継モード

(LED表示: r d)

DJ-P30Dの電波を受信した時デジタルコード設定に関係なく
中継を開始するか、コード設定が一致した時だけ中継するかの
選択が出来ます。

OF 全コード対応中継 (初期値)

On コード一致中継

設定後 WRキーで記憶します。赤LEDが一瞬点灯する事を確認します。

4.3.2 スクランプルコード設定

(LED表示: r C d)

DJ-P30Dの設定コードと同じコードを設定する事が出来ます。

▲ ▼ ◀ ▶キーでコード設定します。◀ ▶キーで変更したい桁の
数字を選びます。点滅している数字が選択されています。コードは6桁で
構成されており上位3桁は7セグメントLED右下にドット表示が点灯し
ます。下位3桁はドット表示が消えます。▲ ▼キーでコード数字変更

設定後 WRキーで記憶します。赤LEDが一瞬点灯する事を確認します。

4.3.3 CH設定

(LED表示: r CH)

使用する周波数CHを設定します。

DJ-P30D表示に合わせB12~L18まで ▲ ▼ キーで選択
設定します。設定後WRキーで記憶します。赤LEDが一瞬点灯する事を
確認します。B表示は 小文字bで表示されます。

4.3.4 スケルチレベル調整

(LED表示: r r C)

設置環境でノイズが多い場合 スケルチレベル調整を

行う事でノイズの影響を少なくする事が出来ます。設定は5段階の数字を
▲ ▼ キーで選択設定します。設定後WRキーで記憶します。

数字が大きくなるほど スケルチレベルは上がりノイズの影響は減りますが
レベルが上がるほど弱い電波に反応しなくなります。受信していない状態で
緑LEDが点灯しない最小のレベルに設定して下さい。初期値は2です。
設定後WRキーで記憶します。赤LEDが一瞬点灯する事を確認します。
変更したスケルチレベルはWRキーで設定後 反映されますのでノイズに
よるLED点灯状態は設定後確認して下さい。

5. 通信時間

送信を始めて最大3分間送信可能です。3分を超えると自動的に送信を停止し
2秒間待機後、再度空きチャンネルを確認し空いていれば送信開始します。

6. 運用方法

DJ-P30D 2台以上 準備します。

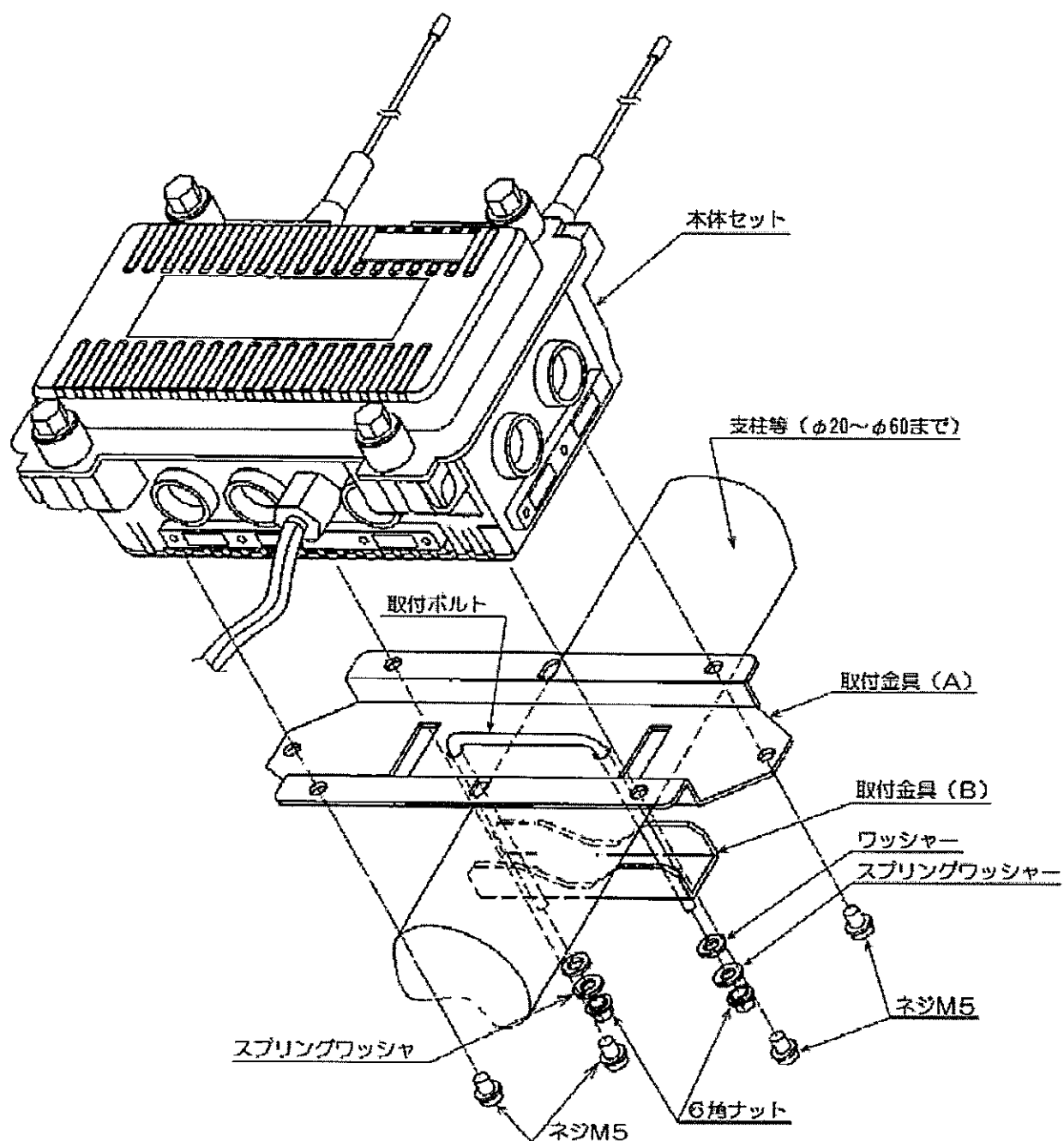
DJ-P30Dのコードを合わせます。初期値中継モードは全コード対応
中継モードです。レピーターをコード一致モードで使用する場合は
レピーター側コードも合わせます。この場合コードが一致したDJ-P30D
にしか反応しません。CH等必要な設定を行った後DJ-P30Dから送信し
DJ-P30Rが動作し、もう1台のDJ-P30Dで正常に受信する事を
確認します。ノイズが多い環境でモニターLEDが緑色に常時点灯している
場合はスケルチレベル調整でLEDが消灯する最低レベルに調整します。
もしそのチャンネルに電波がある場合 チャンネルを変更して下さい。
実際の運用では2秒以上使っていない場合DJ-P30Dはレピーター
オープン動作から開始しますので約1秒遅れてレピーターが中継動作します。
そのため通話する場合その時間を考慮して通話して下さい。
レピーターオープン後はアナログレピーターより若干の遅れがある状態で
通話する事が出来ます。

7. 取付

取付出来るボールの径は20～60mmφまでです。

60mmφ以上のボールに取り付ける場合はバインド材を使用して下さい。

壁に取り付ける場合 金具穴を利用して下さい。



8. 定格

一般仕様

送信周波数	421.5750~421.7875MHz	421.8125~421.9125MHz
受信周波数	440.0250~440.2375MHz	440.2625~440.3625MHz
通信方式	半複信	
チャンネル数	27CH	
チャンネル間隔	12.5kHz	
電波形式	F1E	
発振方式	水晶発振周波数シンセサイザー方式	
周波数安定度	±2.5ppm以下	
定格電圧	DC8V~15V 筐体接地	
消費電流	最大100mA 以下	
接地方式	マイナス接地	
空中線	$\lambda/2$ 単一型 送受兼用 2.14dBi 以下	
使用温度範囲	-20℃ ~ +60℃	
本体寸法	H130×W216×D93 約2kg 突起物除く	

制御部

送信時間制限装置	通信時間積算方式 3分以下
送信休止時間	2秒
センス方式	キャリアセンス

受信部

受信感度	-3dBμ以下
受信方式	Low IF方式
キャリアセンス感度	6dBu以下

送信部

送信出力	0.01W +20% -50%
占有周波数帯域幅	8.5kHz以下
スプリアス発射強度	2.5μW以下
隣接チャンネル漏洩電力	搬送波に対して40dB以下
変調方式	直接FM変調 (GFSK)
最大周波数偏移	±2.5kHz以下

アルインコ株式会社

■電子事業部

●東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-21 八重洲セントラルビル4階

 03-3278-5888 (代表)

●大阪営業所 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4-9 淀屋橋ダイビル13階

 06-7636-2361 (代表)

●福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3-6 博多借成ビル7階

 092-473-0834 (代表)

PS0465